

(仮称)相模原市行財政構造改革プランの策定期期の再延期について

(仮称)相模原市行財政構造改革プラン(以下「改革プラン」という。)の策定期期を再延期することとする。

1 再延期の理由

新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という。)の拡大により、次の事象が生じたため。

- 感染症拡大の収束後における本市行財政のあり方について、現段階においては見通しを立てることができない状況にあること。
- 現時点においては、感染症の拡大が本市経済や市税収入等に与える影響を見込むことが極めて困難であり、改革プランの策定に当たり必要不可欠となる本市財政の中長期的な収支見通しを立てることができない状況にあること。
- オープンハウスの未実施など、改革プランの策定において重要となる市民意見の聴取が不十分であること。
- 専門的な知見を持った学識経験者、民間ならではのノウハウや住民目線での視点を持った市民公募委員で構成される「相模原市経営評価委員会」を開催できない状況にあること。
- 感染症対策の取組や補正予算の編成等により、庁内において改革プランの内容の検討、調整等に十分な時間を確保できない状況にあること。

2 再延期後のスケジュール

○ 改革プラン(案)策定

変更前 感染症が収束したと判断されてから1か月後又は令和2年6月末

変更後 令和2年12月末

○ 改革プラン策定

変更前 改革プラン(案)策定後3か月後を目途

変更後 令和3年3月末